

2025 年 5 月 28 日

各 位

会社名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 金光 修
(コード番号 4676 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 清水 賢治
(TEL. 03-3570-8000)

当社と株主様との協議状況について

当社はかねてより、機関投資家や株主様からのご面談や対話のお申し出について、原則としてすべてにご対応して参りました。

当社子会社フジテレビジョンにおける人権・コンプライアンス事案の発生以降は、当社の株主様が大きな関心をお持ちの状況にあると理解しており、当社は、2025 年 1 月以降、延べ 66 社の機関投資家・株主の皆様とのご面談（オンライン・対面含む）を実施するなど対話機会を積極的に確保し、機関投資家や株主様のご意見を経営に活かすと同時に、当社の状況や今後の方針等について真摯に説明してまいりました。

当社は、このような活動を通して、これまで発表してきたガバナンス改革、及び 5 月 16 日に発表した「改革アクションプラン」で示した方針に、株主様をはじめとする様々なステークホルダーの皆様からいただいたご意見を反映しています。

そうした中、一部報道において、当社が、2025 年 6 月 25 日開催予定の第 84 回定時株主総会で株主提案権を行使した株主（以下「提案株主様」といいます。）との協議に応じていない旨が報じられておりますが、これは事実ではありません。

当社は、本日公表の「ガバナンス強化・企業価値向上に向けた取り組み 及び当社の取締役候補にかかる当社取締役会意見（追加説明資料）」3 ページに記載のとおり、提案株主様との間で、株主提案を受領した後に限っても、計 60 回以上、メール、電話、オンライン及び対面によるご面談を通じた対話を行い、ご要請・ご要望を伺いながら真摯に検討を行ってまいりました。また、提案いただいた候補者 12 名のうち、拒否された 2 名を除き、個別の面談を実施し、提案株主様から提供された資料に加えて個別に候補者の皆様から書面のご提出をいただき、経営諮問委員会や取締役会において真摯に検討してまいりました。

当社としては、引き続き提案株主様を含む機関投資家や株主様をはじめとするステークホルダーの皆様との真摯な対話を続け、改革アクションプランで示した目標の実現を通じて、企業価値向上に努めて参ります。

以 上

添付資料

「ガバナンス強化・企業価値向上に向けた取り組み 及び当社の取締役候補にかかる当社取締役会意見（追加説明資料）」